

# 第25回全国消防救助シンポジウムの開催

## 参事官

令和4年11月15日（火）、「活動困難な環境下における救助対応能力の向上」をテーマに、第25回全国消防救助シンポジウムを銀座ブロッサム中央会館（東京都中央区）において開催いたしました。近年の情勢に鑑み、会場及びオンラインを合わせたハイブリッド開催方式とし、約2,700人の消防関係者に御参加いただきました。また、会場には消防関係企業による救助資機材展示ブースも設けました。

消防庁前田長官の開会挨拶に続き、全国消防長会清水会長から御祝辞をいただいた後、守口市門真市消防組合消防本部の青野喬志氏から特別報告として、令和3年12月に守口市で発生したシールドトンネル事故について、事故概要、活動困難であった現場状況、活動内容及び検討課題等を発表いただきました。

また、労働安全衛生総合研究所の高橋明子氏には「労働現場でのヒューマンエラーによる事故防止対策」と題し、ヒューマンエラーの基本的な考え方や現場対応力の向上に関する新しい安全観と事故防止のための実践例について御講演いただきました。



祝辞を述べる全国消防長会清水会長



青野喬志氏の特別報告

事例研究発表では、全国から応募のあった中から選ばれた9名の消防職員から、それぞれの消防本部が経験した、要救助者への接触及び救助活動が極めて困難な環境下での事例の課題点や改善点、それに対応する教育訓練・研究を発表していただきました。

また、総合討論では消防庁参事官補佐が司会進行を務め、事例研究発表者9名に加え、特別報告及び教育講演をいただいた2名を交えて、会場及びオンライン参加者

からの質問に答えるなど、活発な意見交換が行われました。そして、消防庁参事官より消防庁の最新施策などの紹介もありました。

救助活動件数は年々増加傾向にあり、救助隊が現場において柔軟な対応能力を発揮することが求められる場面も多くなっていると思います。本シンポジウムを通して、活動困難な環境下でも要救助者を救出するための効果的な救助手法を学び、救助対応能力の向上に資することを期待しています。（応募作品も含めた記録集を消防庁ホームページに掲載し、当日の配信映像はDVDにして消防関係機関へ配布する予定です。）



高橋明子氏の教育講演



12名による総合討論の様子

## 第25回全国消防救助シンポジウム プログラム

### I 開会

消防庁長官 前田 一浩

### II 祝辞

全国消防長会 会長 清水 洋文 様

### III 特別報告

「守口市シールドトンネル事故活動報告」  
守口市門真市消防組合消防本部 消防司令 青野 喬志 氏

### IV 事例研究発表

消防本部名	氏名	演題
東京消防庁	榊原 康之	各種専門部隊及び民間業者が連携した救助活動について
横浜市消防局	鈴木 将人	大型貯油タンク跡地における救助事案について
土浦市消防本部	鎌田 剛	ガス酸欠事故における狭隘空間での活動について
湖南広域消防局	中島 和洋	水難救助事案における目撃者情報を活用したテクニカルサーチについて
倉敷市消防局	大橋 達也	救出困難な埋没救助事案から生まれた土圧検証と救助戦術
久留米広域消防本部	立石 平和	ミニチュアトレーニングツールを活用した机上訓練の紹介
人吉下球磨 消防組合消防本部	山村 一臣	災害時要援護者を多数救助した活動について
大阪市消防局	長田 和也	特定一階段等防火対象物における火災多数救助活動について
岡山市消防局	高野 拓也	他機関連携強化による交通救助対応能力の向上

### V 教育講演

「労働現場でのヒューマンエラーによる事故防止対策」  
独立行政法人 労働者健康安全機構  
労働安全衛生総合研究所 リスク管理研究グループ  
上席研究員 高橋 明子 氏

### VI 総合討論

テーマ：「活動困難な環境下における救助対応能力の向上を目指すために」  
司 会：消防庁国民保護・防災部 参事官補佐 田中 亮三

### VII 閉会

トピック紹介、あいさつ  
消防庁国民保護・防災部 参事官 村川 奏支

## 消防庁前田長官の開会挨拶

第25回全国消防救助シンポジウムの開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

まずは、全国から多くの消防関係機関の皆様をお迎えして、このシンポジウムを開催できることを、主催者を代表しまして、深く感謝申し上げます。

また、本日は、全国消防長会の清水会長にご臨席いただいておりますとともに、労働安全衛生総合研究所の高橋様には教育講演という形でご参加いただき、厚く御礼申し上げます。

近年、全国で様々な自然災害が相次いでおり、今年も3月に発生した福島県沖の震度6強の地震や8月上旬に山形県や新潟県で発生した線状降水帯によって大雨特別警報が発表された大雨、9月に相次いで襲来した台風など、各地で大きな被害をもたらしています。

このような災害に対して、救助隊員の皆様には昼夜を分かたず活動困難な環境下においても身を挺して懸命な救助活動を実施していただいていることに、改めて敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

本日のシンポジウムは「活動困難な環境下における救助対応能力の向上」をテーマとしています。近年、救助事案は複雑多様化しており、前例や経験がない事案も各地で発生しておりますが、そのような災害への対応能力を養うためには、経験や知見を広く共有し合うことが重要です。

特別報告をいただく、昨年12月に大阪府守口市で発生したシールドトンネル工事中の生き埋め事故は、救出に47時間を要した、かつてない困難な環境下での活動でした。また、危険な現場で救助活動にあたる消防職員の事故防止について改めて考えていただくため、労働現場の事故原因の



消防庁前田長官の開会挨拶

多くを占めるヒューマンエラーの防止対策や事故防止の実践事例等について、講師の高橋様にご講演いただきます。そして、事例研究発表として、それぞれの消防本部が経験した災害事例とその課題、改善点を共有していただきます。シンポジウムを通じて、様々な事例を知り、効果的な救助手法を学び、安全意識を高め、救助対応能力の向上につながることを強く期待しております。

総務省消防庁におきましては、本シンポジウムのように現場活動に資する情報の共有・発信に努めるとともに、引き続き、緊急消防援助隊や常備消防力の強化、消防団を中核とした地域防災力の向上など、消防防災体制の充実強化に取り組んで参ります。皆様におかれましても、一層の救助体制の充実強化に努め、来るべき災害に備えていただきますようお願い申し上げます。

むすびに、全国の消防関係機関のますますのご発展と、皆様のご健勝とご活躍を心より祈念いたしまして、私の挨拶といたします。

### 問合せ先

消防庁国民保護・防災部参事官付救助係  
総務事務官 岡田 大介  
TEL: 03-5253-7507